

四日市市病院管理規程第 2 号

市立四日市病院企業職員の旅費に関する規程の一部を改正する規程を次のように定める。

令和 7 年 6 月 1 日

四日市市病院事業管理者 蜂須賀 丈博

市立四日市病院企業職員の旅費に関する規程の一部を改正する規程

市立四日市病院企業職員の旅費に関する規程（平成 1 7 年四日市市病院管理規程第 1 7 号）の一部を次のように改正する。

改正後
<u>（転居費）</u> 第 2 条 <u>転居費は、赴任に伴う転居に要する費用とする。</u> 2 <u>転居費の支給を受ける職員は、職員（任期付職員及び会計年度任用職員を除く。）のうち、医療業務に従事する医師若しくは歯科医師であって、採用に伴い住所又は居所を移転することが相当であると認められた職員とする。</u> 3 <u>転居費の額は、次の各号により算定される額とする。</u> <u>（1）実際に家財の運送に要した額と別表に規定する額を比較して少額となる額</u> <u>（2）赴任の際職員単身での転居の場合には、別表に規定する額を 2 分の 1 にした額と実際に家財の運送に要した額を比較して少額となる額</u> <u>（補則）</u> 第 3 条 <u>この規程に定めるもののほか、市立四日市病院に勤務する企業職員の旅費の支給については、四日市市職員の旅費に関する条例（昭和 3 8 年四日市市条例第 5 号）に定める一般職に属する職員の例による。</u>

別表（第 2 条関係）

<u>旧在勤地 から新在 勤地まで の距離</u>	<u>鉄道</u> <u>50km未</u> <u>満</u>	<u>鉄道</u> <u>50km以</u> <u>上</u> <u>100km未</u> <u>満</u>	<u>鉄道</u> <u>100km以</u> <u>上</u> <u>300km未</u> <u>満</u>	<u>鉄道</u> <u>300km以</u> <u>上</u> <u>500km未</u> <u>満</u>	<u>鉄道</u> <u>500km以</u> <u>上</u> <u>1000km</u> <u>未満</u>	<u>鉄道</u> <u>1000km</u> <u>以上</u> <u>1500km</u> <u>未満</u>	<u>鉄道</u> <u>1500km</u> <u>以上</u>
<u>9、8、</u> <u>7 級</u>	<u>126,000</u> <u>円</u>	<u>144,000</u> <u>円</u>	<u>178,000</u> <u>円</u>	<u>220,000</u> <u>円</u>	<u>292,000</u> <u>円</u>	<u>306,000</u> <u>円</u>	<u>328,000</u> <u>円</u>
<u>6 級</u>	<u>107,000</u> <u>円</u>	<u>123,000</u> <u>円</u>	<u>152,000</u> <u>円</u>	<u>187,000</u> <u>円</u>	<u>248,000</u> <u>円</u>	<u>261,000</u> <u>円</u>	<u>279,000</u> <u>円</u>

改正前

（旅費）

第 2 条 市立四日市病院に勤務する企業職員の旅費の支給については、四日市市職員の旅費に関する条例（昭和 3 8 年四日市市条例第 5 号）に定める一般職に属する職員の例による。

附 則

この規程は、令和 7 年 6 月 1 日から施行する。